

# 共同プレスリリース



## 日本国政府と国連ユニタールが 2015 年南スーダン奨学プログラム終了と 2016 年奨学プログラム実施を表明

2016 年 3 月 10 日 ジュバ、南スーダン

国連訓練調査研究所（国連ユニタール）広島事務所、在南スーダン日本国大使館と南スーダン政府は 5 か月間にわたる南スーダン能力強化プログラム「南スーダン奨学プログラム」を成功裏に終わらせ、2016 年 3 月 10 日ジュバにて終了式を開催いたしました。同時に 2016 年の南スーダン奨学プログラム実施も表明いたしました。

### 2015 年奨学プログラムの成果

2015 年奨学プログラムでは 20 人の政府機関及び市民団体に所属する南スーダン研修生（うち 8 人が女性）が主にプロジェクト形成と実施について学びました。本奨学プログラムはワークショップ（計 3 回実施）、オンライン研修や自己課題等様々な学習方法を組み合わせて実施されました。各研修生は所属団体のニーズアセスメントを行い、現代の南スーダンの課題や問題に取り組むためのプロジェクト企画書を提案しました。また、南南協力の一環として過去のアフガニスタン奨学プログラムに参加した研修生たちがプロジェクト企画書作成の支援を行いました。

2015 年奨学プログラムは 2015 年 11 月、南スーダンのジュバで第 1 回ワークショップ開催から始まりました。ワークショップでは研修生たちはニーズアセスメントの理論や成功事例について学びました。第 2 回ワークショップは 2016 年 2 月東京と広島にて開催され、プロジェクト実施に必要なツールやプロセスについて学びました。東京滞在中には南スーダンの現状をよく知る専門家の方々をパネリストとしてお招きし、国連大学で公開セッションを開催しました。多様なバックグラウンドを持つ

パネリストが各自南スーダンでの経験に基づき、幅広い視点からこれまでの南スーダンの成果および今後の課題について約 100 人の方々に前にプレゼンテーションを行いました。また、研修生たちは「平和都市」と呼ばれるようになった広島復興のプロセスを学ぶために広島平和記念資料館を訪れ、被爆者の体験と平和へのメッセージを直に聴き大変感銘を受けていました。

奨学プログラムの最後のワークショップが 2016 年 3 月南スーダンのジュバで開催され、本日成功裏に終わりました。この第 3 回ワークショップではリーダーシップおよび効率的なコミュニケーション手法について学び、研修生たちは企画書の発表を行いました。「人道問題・防災省における物流機能の強化」「儀典調整局における能力強化」「Eye Media（南スーダンのラジオ）がどのようにライフスキル関連情報をラジオの聞き手に届けていくか」等、企画書の内容は多岐に渡りました。

第 3 回ワークショップ閉会式で国連ユニタール広島事務所の隈元所長は研修生たちに奨学プログラム終了の祝辞と日本国政府からの支援に対する感謝を述べ、下記コメントを発表しました。「本奨学プログラムで学んだことによってプロジェクトを効率的に実施するためのノウハウおよび手法を取得し、各自が所属機関の変革に関わっていくことを期待します。また、これからの南スーダンの国造りに貢献できるスキルを取得する貴重な機会となったことと思います。各研修生が作成した企画書については今後行動計画として実施され、成功事例の報告を受けるのを楽しみにしています。また、日本国政府のご支援を頂き 2016 年奨学プログラムが始まりますが、引き続き南スーダンの復興と豊かな国づくりに必要な人材育成に貢献できることを期待します。ユニタール広島事務所一同および南スーダン駐在事務所は南スーダンの復興支援に貢献できることを大変光栄に思います。」

紀谷昌彦駐南スーダン大使は同じく研修生たちに祝辞を述べ「東京と広島研修を含む 5 か月間にわたる奨学プログラムが南スーダンの平和な国造りと繁栄に貢献するための強固な基盤を作ったものと思います。各研修生の情熱と責任感に大変感銘を受けました。今後みなさんが各自の所属機関によい変化をもたらす活動に貢献することを期待します。」とコメントされました。

## 2016 年南スーダン奨学プログラム

2016 年「国連ユニタール南スーダン奨学プログラム」は南スーダンの現状に沿ったプロジェクトマネジメント手法やリーダーシップスキル取得を目指します。2016 年は昨年より幅広い政府機関および市民組織団体から 25 名の研修生を募集します。また、2015 年奨学プログラム卒業生の中から 5 名がメンターとして 2016 年奨学プログラムに参加します。5 名の卒業生は今後コーチングの研修を受け、2016 年の奨学プログラムのテーマを一緒に考え、新しい研修生を指導する役目を担います。

2016 年の第 1 回ワークショップは 2016 年初夏を予定しており、募集要項は近日発表となります。

## 研修内容

5 か月にわたる「国連ユニタール南スーダン研修プログラム」では世界で一番新しい国である南スーダンの官民ともに様々な分野で活躍する関係者の知識、スキルや意識向上を目指しています。本プログラムでは様々な学習手法を取り混ぜながら南スーダンで 2 回、広島で 1 回と計 3 回のワークショップを実施します。各ワークショップは研修モジュールによって継続性を持たせ、プログラム終了時までには与えられた課題を完成させます。

本プログラムは南スーダン政府の外務国際協力省が政治的な調整役として、そして労働公共事業人材開発省は実務的な調整役としてご支援を頂いております。

## 国連ユニタール

国連訓練調査研究所（UNITAR）は、教育訓練を行う国連の機関であり、世界の様々な地域で活動しています。私たちは、個人や政府・組織が直面する様々な課題を知識や学習を通して効果的に克服していけるように、人材育成・訓練を実施しています。国連ユニタール広島事務所は、紛争後の復興と世界平和の推進を使命のひとつとし、アフガニスタンやイラクなど紛争を経験し平和構築を目指す国の人々に対する研修を計画・実施しています。

以上

プログラムの詳細については、下記までご連絡ください。

国連ユニタール広島事務所

島津 準子

E メール：[junko.shimazu@unitar.org](mailto:junko.shimazu@unitar.org)

電話番号：+81-082-511-2424

在南スーダン日本国大使館

Koji ITO

E メール：[koji.ito-2@mofa.go.jp](mailto:koji.ito-2@mofa.go.jp)

電話番号：+211 956 481 145